

平成28年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

実習タイトル	公開臨湖実習 3「野外調査と実験から理解する沿岸地形・地層の形成」		
<p><実習内容> 潮来市にある広域水圏環境科学教育研究センターの周辺をフィールドとして、9月下旬に4泊5日の実習を行う。過去の環境変化を復元する手がかりとなる、地層や地形の特徴や堆積構造を観察する方法を実践的に学ぶ。</p> <p><実習項目> 未固結堆積物の観察、サンプル採取、分析、水路実験などの体験を通して、地層・地形の形成過程と環境復元の方法を学ぶ。</p> (1) 霞ヶ浦周辺の地形観察 (2) 第四系海成堆積物（下総層群）の観察・記載・柱状図作成 (3) 簡易水路を用いた実験による地層形成過程の観察 (4) 現世海浜での簡易地形測量。ジオスライサーおよびハンドオーガーを用いた掘削と堆積物の観察			
実習内容キーワード	堆積物、古環境、地層、地形、堆積構造、堆積過程、堆積相、霞ヶ浦		
担当教員氏名・所属・役職名	山口直文・茨城大学広域水圏環境科学教育研究センター・助教 荻部甚一・同センター・助教		
協力教員氏名・所属・役職名	中里亮治・同センター・准教授、加納光樹・同センター・准教授		
対象学生・学年	学部2～4年生 (院生も可)	開講期間	平成28年9月25日(日) 昼～ 9月29日(木) 昼
開講大学・施設名	茨城大学・広域水圏環境科学教育研究センター		
施設の住所	〒311-2402 茨城県潮来市大生 1375		
電話	0299-66-6886	F a x	0299-67-5175
e-mail	suiken@ml.ibaraki.ac.jp	Web Site	http://www.cwes.ibaraki.ac.jp/
交通案内	高速バス停留所「水郷潮来（東京駅から1時間15分、片道1780円）」またはJR延方駅からタクシーで約10分。事前連絡があればバス停・駅まで送迎します。		
費用	宿泊費（宿泊棟使用料、シーツ代）と食費で9,000円		
授業科目名	地質環境科学実習		
単位数	1単位 (院生の場合、所属大学院での単位認定不可)	定員数	5名程度
授業料の徴収について	国立・公立・私立大学を問わず不徴収。		
受講生選抜基準と申し込み締め切り	先着順。参加希望者は6月30日までに電話もしくはメールでお問い合わせください。詳しい申し込み方法をお知らせします。		
選抜結果連絡法	e-mailによって、履修に必要な情報とともに本人に連絡する。		